

Yahoo! JAPAN Ads API Webinar Oct, 2020

Agenda

- API 全体スケジュール
- Yahoo!広告 API アップデート 概要
- ・ 前回質疑応答からの進捗共有
- よくある問い合わせ
- ベストプラクティスの紹介
- API 利用サービスランキング
- API利用事例
- 質疑応答

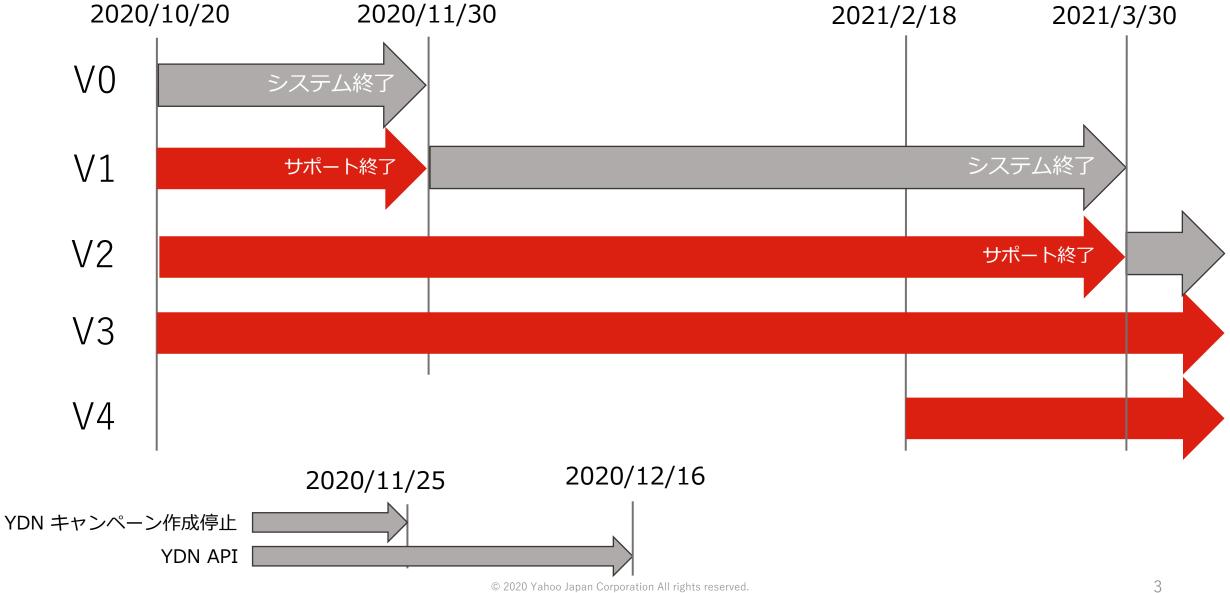
質疑応答の実施方法

質疑応答はSlidoにて実施いたします。下記へアクセスお願いいたします。



https://app.sli.do/event/ds4haqdy

API全体のスケジュール



APIパートナー限定

Yahoo!広告 API アップデート概要

- ・アップデート内容について
- ・QPSのペナルティ仕様の変更について

Get時の作成日絞り込み

CampaignService、 AdGroupService、 AdGroupAdService、 MediaService、 VideoServiceのgetにおい て、作成日での絞り込みに対 応しました。

検索広告、ディスプレイ広告

対象バージョン: V3

CampaignService#getのリクエスト例

{
 "accountId": XXXXXXX,
 "createdDateRange": {
 "startDate": "20200901",
 "endDate": "20200930"
 }
}

アカウント予算の取得/更新API変更

アカウントの月額予算の取得と更新 のServiceが変更になります。

これに伴い、AccountServiceでは、月額予算の取得と更新は廃止されます。

検索広告、ディスプレイ広告

対象バージョン: V3

BudgetOrderService#setのリクエスト例

横断リーチレポート、コンバージョン経路レポートの追加

新たに横断リーチレポートとコンバージョン経路レポートを追加。

これに伴いリーチレポートとフリー クエンシーレポートはIF変更が発 生します。

ディスプレイ広告

対象バージョン: V3

```
ReportDefinitionService#addのリーチレポート例
   "accountId": xxxxxxx,
   "reportDateRangeType": "YESTERDAY",
   "fields": [
     "DAY",
     "CAMPAIGN_NAME",
     "RFACHES"
   "frequencyRange": "MONTHLY",
   "reportTypeCondition": {
    "reportType": "REACH",
     "reachReportCondition": {
      "frequencyRange": "MONTHLY"
```

横断リーチレポート、コンバージョン経路レポート

横断リーチレポート例

```
"accountId": xxxxxxxxx,
   "reportDateRangeType": "YESTERDAY",
   "fields": [
    "SUMMARY PATTERN FOR CROSS_REACHES",
    "UNIQUE USERS WITH VIEWABLE IMPRESSIONS",
    "UNIQUE USERS WITH CLICKS OR VIDEO VIEWS",
    "UNIOUE USERS WITH CONVERSIONS"
   "reportTypeCondition": {
    "reportType": "CROSS CAMPAIGN REACHES",
    "crossCampaignReachesReportCondition": {
     "crossCampaignType": "CAMPAIGN ID",
     "crossCampaignIds": [
      0000001,
      00000002,
      00000003
```

コンバージョン経路レポート例

```
"accountId": 1001341298,
"reportDateRangeType": "YESTERDAY",
"fields": [
 "TOUCHPOINT 1",
 "INTERACTION AT TOUCHPOINT 1",
 "TOUCHPOINT 1 INTERACTIONS",
 "TOUCHPOINT 2".
 "INTERACTION AT TOUCHPOINT 2",
 "TOUCHPOINT 2 INTERACTIONS",
 "CONVERSIONS FOR CONVERSION PATH",
 "CONV VALUE FOR CONVERSION PATH"
"reportTypeCondition": {
 "reportType": "CONVERSION PATH",
 "conversionPathReportCondition": {
  "lookbackWindow": 10,
  "includeViewInteraction": "TRUE",
  "conversionPathFilters": [{
   "conversionPathFilterType": "CAMPAIGN NAME",
   "conversionPathFilterOperator": "START WITH",
   "values": ["test"]
```

動的検索連動型広告(DAS)の新指定方式への対応

動的検索連動型広告(DAS)の指定方法に新たに「ドメイン全体」と「ドメイン全体とページフィードを併用」を追加。

検索広告

対象バージョン: V3

CampaignService#add時のDASリクエスト例 "campaignName": "xxxxxx", "type": "DYNAMIC ADS FOR SEARCH", "settings": ["dynamicAdsForSearchSetting": { "feedIds": [XXXXXX "domain": "yahoo.co.jp", "dasUseUrlsType": "DOMAIN AND SUPPLIED URLS" **}**,

顧客データインポート機能への対応

9月24日にディスプレイ広告でリリースされました顧客データインポートに対応しました。

RetargetingListServiceに #uploadUserListと #getUploadUserListStatusを追加

ディスプレイ広告

対象バージョン: V3

RetargetingListService/uploadUserListのcurl例

curl -v -i -X POST

-H "Content-Type:application/octet-stream"

-T "./IDFA_USER_LIST.txt"

-H "Authorization: Bearer xxxxxxxxxx

'https:// ads-display.yahooapis.jp

/api/v3/RetargetingListService/uploadUserList?accountId= xxxxxxxx&retargetingTagId=xxxxxxxx&targetListId=xxxxxx xx&uploadType=IDFA&compressType=NONE'

認可APIのエラー改善

認可APIのエラー時のレスポンスを JSON形式に変更。

エラーの内容や、ステータスコード を変更しています。(RFC6749準 拠)

参考: RFC6749

/authorize エンドポイントのエラーレスポンス https://tools.ietf.org/html/rfc6749#section-4.1.2.1

/token, /revoke エンドポイントのエラーレスポンス https://tools.ietf.org/html/rfc6749#section-5.2

共通

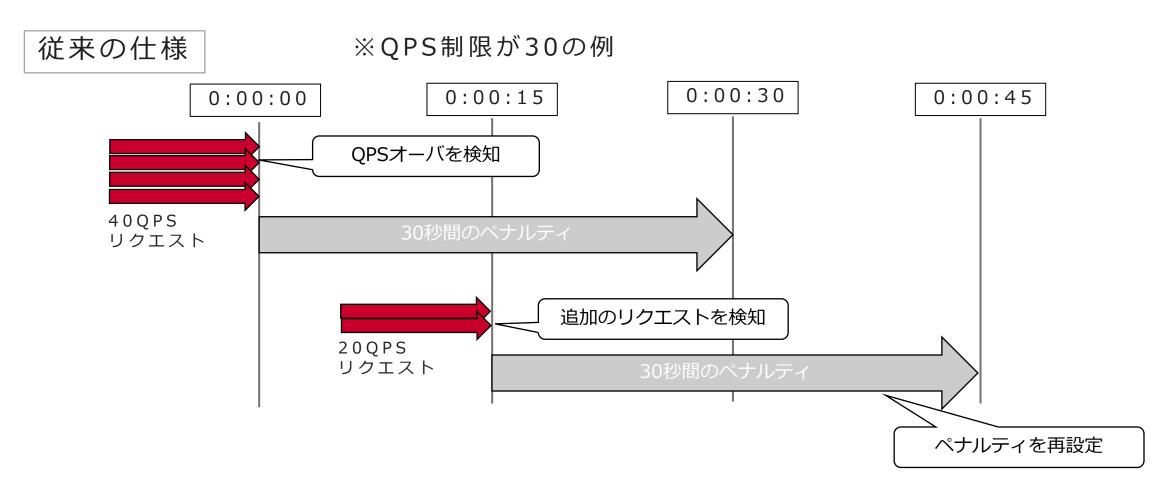
対象バージョン:全て

レスポンス例

```
HTTP/1.1 400 Bad Request Content-Type: application/json;charset=UTF-8
```

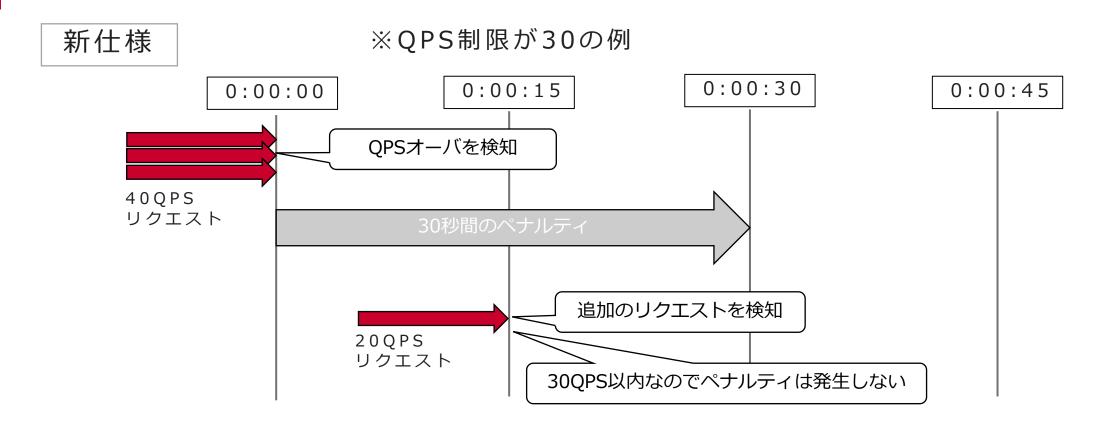
```
{
    "error":"invalid_request"
}
```

QPSのペナルティ仕様変更について 1



ペナルティ中に一定数アクセスをすることでペナルティの延長が起きていた このため、ペナルティが解消されないケースが発生した

QPSのペナルティ仕様変更について 2



設定されているQPS内であれば、追加ペナルティを受けない2020年10月初旬にリリース済み

質疑応答の実施方法

質疑応答はSlidoにて実施いたします。下記へアクセスお願いいたします。



https://app.sli.do/event/ds4haqdy

前回WebinarにていただいたQAの進捗について

前回(7/20)のWebinarにていただきましたQA、アンケートにていただきました質問、要望について進捗を報告いたします。

今回共有させていただきますヤフーからの回答については、現状、決定、報告できる状態のものに限らさせていただきます。

いただきました要望等、引き続き検討を進めてまいります。回答できるフェーズになりましたら、ご連絡差し上げます。

前回WebinarにていただいたQAの進捗について

QA

質問	回答&進捗
以前は、自身のアカウント以外の広告アカウントにアクセス	ご指摘いただいておりますとおり、以前のSOAP版に比べて
するには、代行認証に必要な情報	他社アカウントが利用する際の認証認可については緩和され
(onBehalfOfAccountId/onBehalfOfPassword)が必要で、	
ハードルが高かった記憶があります。 現在のAPIでは、他社	また、スタートアップガイド、OAuth2.0についての記事を
のアカウントにも認証さえ通せばAPIアクセス可能と思って	更新しました。
良いでしょうか	https://ads-
	developers.yahoo.co.jp/developercenter/ja/startup-
	guide/oauth.html

前回Webinarにていただいたご意見について

前回のWebinarにて頂いたご意見の一部

意見	回答
多言語、または世界共通言語であれば良いと思う。	順次英語コンテンツも対応してまいります。
It will be great if it in multi-lingual or universal language	https://github.com/yahoojp-marketing/yahoo-ads-api-developers-workshop
弊社全アカウントを紐づけているビジネスIDの認証情報は、システム側へは共有となっていません。これまではSOAP APIなどでAPIを直接確認することができていたのですが(例えばレポートジョブの状況など)、OAuthでの認証となった状況では、どのようにして確認できるのかなど、移行後の運用を見据えたプラクティスがあるとうれしいです。	広告管理ツールにシステム連携するビジネスIDを発行し、 ツール管理権限を与えてください。 ツール管理者であればその企業のアカウントがすべて参照/ 登録・更新可能です。
API機能の拡張 ・代理店MCC機能の拡張(アカウント移管ができるとか) ・ブラパネ(SP)を広告レポートに反映 ・管理画面の最適化案をAPIで取得できる など	MCCアカウントに関するAPIの対応は来年予定です。
よく利用されているサービスのランキングがみたい	次のパートにて紹介させていただきます。

前回Webinarにて頂いた追加して欲しい機能

機能追加についてのご意見

意見	回答
QPSに対する要望 ・全体的に厳しめのように思います。 ・ペナルティが厳しい。	今回、よくあるお問い合わせでご連絡しましたように、ペナルティに関する仕様を変更しております。また、上限が厳しい場合は下記フォームより変更申請をお願いいたします。https://form-business.yahoo.co.jp/claris/enqueteForm?inquiry_type=yads-api-support-qps-ja
代理店MCCと最適化案のところが欲しいです。	MCCアカウントの取得対応は来年対応予定です。

- ReportDefinitionServiceとStatsServiceの使い 分け
- 操作したい広告アカウントが複数ある場合や、他社の広告アカウントにアクセスするにはどうすればいいのか?
- アプリケーションのURI追加はできるのか?

・ReportDefinitionServiceとStatsServiceの使い分け

ディスプレイ広告

対象バージョン:全て

項目	ReportDefinitionService	StatsService
特徴	時系列のデータ	指定した期間の統計値(合計、平均など)
削除したデータ	存在する	除外されている
取得形式	ジョブ登録 Add後、作成完了を待ってDownloadが必要	リクエスト/レスポンス
取得項目	/ReportDefinitionService/getReportFields 取得できる項目がReportDefinitionS にて取得可能 と比較して少ない	
取得データの比較	差分なし	

※使い分けのイメージ

StatsServiceで概要を掴んでいただき、ReportDefinitionServiceで詳細なレポート分析をする、など

・操作したい広告アカウントが複数ある場合や、他社の広告アカウントにアクセスするにはどうすればいいのか?

Yahoo!広告 APIにはYahoo! JAPANビジネスIDと広告アカウントが存在します。 認可を行うのは「 Yahoo! JAPANビジネスID 」であり、 Yahoo! JAPANビジネスIDに どの「広告アカウント」への参照・更新権限を与えるのかといった、 2 段階のアカウント構成となっています。

OAuth2.0の説明を記載しているスタートアップガイドを更新しております。

アカウントのアクセス方法に迷っている際はぜひ、下記スタートアップを参照してください。

https://ads-developers.yahoo.co.jp/developercenter/ja/startup-guide/oauth.html

・アプリケーションのURI追加はできるのか?

Yahoo!広告 APIでは、一つのアプリケーションに対し、10のURI登録を可能としておりました。 2020/10/20より50まで拡張しました。

また、URI登録については下記のスタートアップガイドにあるようにAPIコール時に利用できる「 state 」パラメータを用いてどこから認可リクエストが送信されたのかを判別することができます。 ぜひ、ご利用ください。

https://ads-developers.yahoo.co.jp/developercenter/ja/startup-guide/api-call.html

Yahoo! JAPAN Ads API ベストプラクティス

以前にもお伝えしましたベストプラクティスですが、下記の通り、継続して拡大 しております。

まずは、検索広告よりご連絡いたします。

タイトル	内容
広告表示オプションの追加	広告表示オプション(クイックリンク、コールエクステンション)の追加方法
パフォーマンスレポート作成、取得	レポートの項目取得方法add/get/downloadの方法
データ自動挿入機能	アドカスタマイザーの利用方法
コンバージョントラッキング機能	コンバージョントラッキングの追加、タグ周りについて
動的検索連動型広告の実装方法	ページフィードの追加や、紐付けなど一連の入稿周り
エラー体系 (検索広告)	HTTPステータス、エラーコードの体系
操作履歴	操作履歴のエンティティ、項目などの情報

上記ベストプラクティスは下記Githubにて公開しております。

日本語/English

Yahoo! JAPAN Ads API ベストプラクティス

ディスプレイ広告は下記となります。

タイトル	内容
パフォーマンスレポート作成、取得	広告表示オプション(クイックリンク、コールエクステンショ ン)の追加方法
動的ディスプレイ広告機能	動的ディスプレイ広告のアップロード方法や、仕様全般の説明
画像機能	画像をアップロードする方法(Base64対応)、ダウンロードの 仕様変更部分について説明
コンバージョントラッキング機能	コンバージョントラッキングの追加、タグ周りについて
エラー体系 (ディスプレイ広告)	HTTPステータス、エラーコードの体系
操作履歴	操作履歴のエンティティ、項目などの情報

上記ベストプラクティスは下記Githubにて公開しております。

日本語/English

Yahoo! JAPAN Ads API ベストプラクティス

以上、現在までに公開しているベストプラクティスについてのご連絡でした。 質問や、ぜひ利用いただきたいものから順次作成を進めております。

ベストプラクティスについて、要望/希望する機能等がございましたら本日のSlidoにて投稿をお願いいたします。

要望、希望されることが多い機能に付きましては、順次対応を進め、弊社Githubにて公開してまいります。

API利用ランキング

API利用ランキング

検索

No,	Service
1	ReportDefinitionService
2	CampaignService
3	AdGroupAdService
4	AdGroupService
5	AdGroupCriterionService
6	AccountService
7	CampaignTargetService
8	FeedItemService
9	CampaignCriterionService
10	CampaignExportService
11	AdGroupBidMultiplierService
12	AuditLogService
13	SharedCriterionService
14	CampaignFeedService
15	FeedService
16	OfflineConversionService

ディスプレイ

No,	Service
1	ReportDefinitionService
2	CampaignService
3	AccountService
4	AdGroupAdService
5	MediaService
6	AdGroupService
7	DictionaryService
8	AdGroupTargetService
9	RetargetingListService
10	FeedService
11	VideoService
12	PlacementUrlListService
13	StatsService
14	AccountAdProductService
15	AuditLogService
16	ConversionTrackerService

検索広告 API利用ランキング

No,	Service	Action	利用企業シェア率
1	ReportDefinitionService	add	83%
2	ReportDefinitionService	download	82%
3	ReportDefinitionService	get	68%
4	AccountService	get	53%
5	ReportDefinitionService	getReportFields	43%
6	ReportDefinitionService	remove	42%
7	CampaignService	get	33%
8	AdGroupAdService	get	25%
9	AdGroupService	get	25%
10	CampaignService	set	17%
11	AdGroupCriterionService	add	16%
12	AdGroupCriterionService	get	16%
13	CampaignService	add	15%
14	AdGroupCriterionService	set	15%
15	AdGroupAdService	add	15%

No,	Service	Action	利用企業シェア率
16	AdGroupService	add	14%
17	CampaignTargetService	get	14%
18	AdGroupAdService	set	14%
19	AdGroupService	set	13%
20	CampaignService	remove	11%
21	AdGroupAdService	remove	10%
22	CampaignCriterionService	get	10%
23	CampaignTargetService	add	10%
24	AdGroupCriterionService	remove	9%
25	CampaignTargetService	set	9%
26	FeedItemService	get	9%
27	CampaignCriterionService	add	9%
28	AdGroupService	remove	9%
29	CampaignExportService	get	8%
30	CampaignFeedService	get	8%
31	CampaignTargetService	remove	8%

出典:Yahoo! JAPAN社内調査 集計期間:2020年4月~9月

ディスプレイ広告 API利用ランキング

No,	Service	Action	利用企業シェア率
1	ReportDefinitionService	add	84%
2	ReportDefinitionService	download	83%
3	ReportDefinitionService	get	63%
4	AccountService	get	51%
5	ReportDefinitionService	remove	42%
6	ReportDefinitionService	getReportFields	33%
7	CampaignService	get	29%
8	AdGroupAdService	get	23%
9	AdGroupService	get	20%
10	MediaService	get	18%
11	MediaService	download	15%
12	StatsService	get	12%
13	AdGroupTargetService	get	12%
14	AccountAdProductService	get	12%
15	CampaignService	set	11%
16	CampaignService	add	10%

No,	Service	Action	利用企業シェア率
17	AdGroupAdService	set	9%
18	BalanceService	get	8%
19	AdGroupService	set	8%
20	AdGroupAdService	add	8%
21	ConversionTrackerService	get	7%
22	RetargetingListService	get	6%
23	MediaService	add	6%
24	FeedService	get	6%
25	AdGroupService	add	6%
26	VideoService	get	6%
27	AdGroupAdService	remove	6%
28	VideoService	download	5%
29	FeedService	add	5%
30	DictionaryService	getInterestCategory	5%
31	DictionaryService	getGeographicLocation	5%
32	CampaignService	remove	5%

出典: Yahoo! JAPAN社内調査 集計期間: 2020年4月~9月

API事例

①期間限定配信を自動停止

■機能概要

ラベルを用いた期間限定広告の配信停止また、その配信期日が近いものを通知する

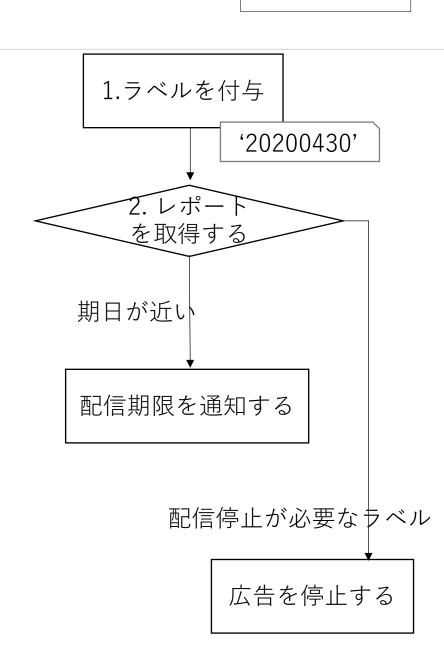
■目的

- 期限切れ広告を配信すると事故となり、信用問題に繋がる
- 期限切れ広告配信を未然に防ぐための機能
- 事前に配信停止を周知することで、運用者は次の広告の準備ができる

①期間限定配信を自動停止

■方法

- 1. ラベル名を日付にする
 LabelService/add labelName:'20200430'
 キャンペーン、広告グループ、広告それぞれにラベルを付与可能
- 2. レポート(AD&LABEL)を取得する
 ReportDefinitionService/add fields: [AD_ID, LABELS]
 配信中の対象期日のラベルと広告を取得
- ⇒期日が近いもの→通知
- ⇒配信停止日となる広告→配信ステータスをオフ AdGroupAdService/set userStatus:PAUSED



■概要

キャンペーン予算上限に達しているものを自動で検知し、 余っている予算を自動で分配する

■目的

CPAが良いものに予算を配分し、 正しいCVとクリックのデータを溜めて、自動入札の精度を高める

■方法

- 1. キャンペーン単位での予算を取得する(当日分) CampaignService/get budget:{amount:2000}
- キャンペーン単位でのレポート取得 ReportDefinitionService/add fields: [AD_ID, COST_PER_CONV, IMPRESSION_SHARE_BUDGET_LOSS] キャンペーン単位で"コスト/コンバージョン数"、"インプレッションシェア損失率(予算)"を取得する
- 3. CPAの悪いキャンペーンから良いキャンペーンに予算を配分しなおす CampaignService/set budget:{amount:3000}

予算が余っているものかつ & コスト/コンバージョン数 (CPA) が高い
↓
コスト/コンバージョン数 (CPA) が低い & インプレッションシェア損失率 (予算) が高い

予算の50%を分配する

(例) キャンペーンID4から、ID1へ予算を分配する

キャンペーンID	予算	コスト(消費)	CV数	CP A	インプレッションシェア 損失率(予算)
1	2000	2000	40	50	100%
2	2000	1400	20	70	70%
3	2000	400	2	200	20%
4	2000	200	2	100	10%

(※注意点) 1日の途中で予算変更した場合に、1日予算上限を超える場合があります

(例) キャンペーンID4から、ID1へ予算を分配する

キャンペーンID	予算	コスト(消費)	CV数	CP A	インプレッションシェア 損失率(予算)
1	2000→3000	2000	40	50	100%
2	2000	1400	20	70	70%
3	2000	400	2	200	20%
4	2000 →1000	200	2	100	10%

ID:4の予算を ID:1に配分する

(※注意点) 1日の途中で予算変更した場合に、1日予算上限を超える場合があります

③検索クエリレポートからCVRが悪い検索クエリを抽出(検索)

■概要

CVRが悪い検索クエリを抽出して、対象外キーワードに登録する

■目的

CVRが悪い検索クエリを対象外キーワードに登録することで、 CVRを上げて効率のよい広告配信を実現する

③検索クエリレポートからCVRが悪い検索クエリを抽出(検索)

■概要

CVRが悪い検索クエリを抽出して、対象外キーワードに登録する

■目的

CVRが悪い検索クエリを対象外キーワードに登録することで、 CVRを上げて効率のよい広告配信を実現する

■方法

- レポート(検索クエリレポート)を取得する
 ReportDefinitionService/add fields: [CONVERSIONS, COST]
 (例)コンバージョン数、コストを取得する
- 2. アカウント全体の消化コストの2%以上、コンバージョン数が0の検索クエリを抽出
- 3. 対象外キーワードとして登録する対象を選択する
- 4. 対象外キーワードとして登録
 AdGroupCriterionService/add use: NEGATIVE
 CampaignCriterionServiceでも同様

© 2020 Yahoo Japan Corporation All rights reserved.

4アカウントヘルスチェック

■概要

• アカウント情報を取得し、アカウントの状態をランク付けする

■目的

- ヤフーが推奨するアカウント高度標準化を実現し、広告効果を早く確実に高めるため
- アカウントの健康状態が、運用者によって品質の差がでないようにするため
- ランク付けすることにより、優先順位を明確にするため
- 指標をもとに運用者が次に何をするのかを明確にするため

4アカウントヘルスチェック

■概要

• アカウント情報を取得し、アカウントの状態をランク付けする

■目的

- ヤフーが推奨するアカウント高度標準化を実現し、広告効果を早く確実に高めるため
- アカウントの健康状態が、運用者によって品質の差がでないようにするため
- ランク付けすることにより、優先順位を明確にするため
- 指標をもとに運用者が次に何をするのかを明確にするため

■方法

アカウント情報を取得し、項目ごとに表示する

操作履歴

AuditLogService/add

AuditLogService/download

・レポート

ReportDefinitionService/add

ReportDefinitionService/download

4アカウントヘルスチェック

■アカウント情報のヘルスチェックによる指標(サンプル)

アカウントランク:B

大項目	項目	実績値/規定値	ランク
アカウント構造	キャンペーン数	6 / 10	В
	広告グループ数	50/72	В
	広告数	100/503	С
リーチ・ターゲティング	リターゲティングご利用金額率	30% / 45%	А
	サーチリターゲティングご利用 金額比率	3% / 3.5%	А
	インプレッションシェア損失率	10% / 25%	В
クリエイティブ	CTR前週比が下がった広告数	5/10以下	А
	広告の最終更新日	1週間前/1ヶ月以内	А

ランク付:パートナーごとに規定値を設け、ランクをつけるようにする

⑤オフラインコンバージョンデータインポート (検索)

■概要

オフラインコンバージョンの効果と オフライン情報の自動インポート

■目的

オフラインコンバージョンを利用により オフライン上でのコンバージョンデータを収集し 自動入札の最適化を実現する

■方法

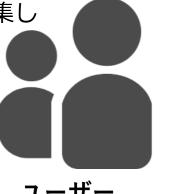
オフラインコンバージョン OfflineConversionService/upload



実店舗

店舗 DB

来店された 顧客情報を登録



ユーザー

顧客情報 インポート Y! DB

ヘルプ

https://ads-help.yahoo.co.jp/yahooads/ss/articledetail?lan=ja&aid=50474&o=default

自動入札の最適化

